

### 【かしこくー学力向上・学びのつながり】 A+B評価の平均 R6 74% → R7 78%

学校では、主体的・対話的で深い学びにつながる学習を進めるために、「めあて」をもたせ、ＩＣＴやつなぎ教材を手立てとして、自力で考えた後、ペアやグループ、学級全体で考えを練り合い、まとめ・振り返りをして学習内容の定着を図るという授業を継続して行っています。お子さんの話やノート、学校のホームページなどからその様子を把握し、多くの保護者の方から高い評価をいただきました。家庭学習についても、ご家庭のご協力の下でよい習慣化を図ることができます。引き続き、各項目での課題を校内で共有し、きめ細かな学習指導にあたってまいります。

### 【心ゆたかにー豊かな人間性を育む】 R6 72% → R7 80%

学校では、一人一人のがんばりやよさを認め、ほめて伸ばすことを心がけています。学校の取組の様子を高く評価いただけたことをありがとうございます。引き続き、授業中のネームプレートの使用や、学級活動や児童会・専門委員会活動などの子ども主体の学校づくりを通して児童の自己肯定感や自己指導能力<sup>※1</sup>を高める取組に努めます。また、学校では、月に一度、全児童に生活アンケートを実施し、気になることが見受けられた際にはすぐに個別に話を聞き、トラブルに対処しています。そのほか、心配ごとがある児童には、スクールカウンセラーとの面談を行っています。学校が安全・安心な場所となるよう、全教職員で児童の実態把握とトラブルの早期発見、早期対応に努めています。ご家庭でも何かお気づきの点があればどうぞお知らせください。

情報モラルやネットの危険性については、学年に応じて指導を行っています。ご家庭においても、ゲームやインターネットの危険性についてお子さんと話し合ったり「我が家ルール」を作ったりしていただけたらと思います。

## 【たくましくー健康安全・体力向上】 R6 77% → R7 78%

体育の授業や休み時間に体を動かす楽しさを味わわせ、進んで運動する習慣がつくよう指導をしています。今後も、児童が自分のめあてに応じて、体力向上ができるよう指導を続けます。今年度、学校保健委員会では、熱中症予防やけがの手当について保健委員の児童が発表を行いました。また、防災講演会を開催し、地域の方と一緒に身近な自然災害の危険性と対策について学びました。教育活動の様々な場面で命を守る取組に力を入れてきましたが、登下校の交通事故防止や不審者対応の指導も含めて、引き続き「自分の命の身体は自分で守る」意識を高める指導を行っていきます。

## 【社会に生きるー北中校区の特色 キャリア教育の推進】 R6 75% → R7 80%

北連携型小中一貫校では、キャリア教育<sup>※2</sup>を重視し、各教科等の学習や学校生活において、発達や学年に応じたキャリア教育を行っています。「キャリアパスポート<sup>※3</sup>」のほか、「みそあじ運動<sup>※4</sup>」という北一貫校3校で共通の取組を行い、9年間で「未来に生きる力」の育成をめざしています。ご家庭でも、引き続き、お子さんの自立へ向けた成長を支えていただければと思います。

## 【地域とともにある学校ーコミュニティ・スクール 家庭・地域との連携】 R6 74% → R7 81%

コミュニティ・スクールは、学校運営協議会を設置している学校のことです。地域の方に学校運営協議会（ぱらりす）の委員になっていただき、北連携型小中一貫校の学校経営方針に対して承認・助言をいただいたり、課題解決のために動いていただいたりしています。また、地域学校協働本部（とらいアングル）では、学校支援ボランティアを通して教育活動を支援するように働きかけを行っています。現在、多くのボランティアさんに、読み聞かせ、図書室整備、ミシン学習の補助、昔遊びの講師等に参加していただいている。そのほか、地域の交通安全パトロール隊の方々による登下校の見守り、更生保護女性会、民生委員児童委員の方々による朝の声かけ運動など、地域のみなさんに見守っていただいている。たくさんの方に支えられて、よりよい教育活動が進められることに感謝いたします。

## 【キャリアアップ・パワープランについて】 R6 37% → R7 43%

キャリアアップ・パワープランは、今年度の始めにご家庭や地域に配付させていただいた北連携型小中一貫校のキャリア教育の計画です。学校要覧リーフレットの4つの目指す子ども像（かしこく・心ゆたかに・たくましく・社会に生きる）を共有し、その具現化に向け、学校、子どもたち自身、家庭、地域のそれぞれで実践してほしい具体的な行動を示しております。キャリアアップ・パワープランについての数値は増加しましたが、まだ評価が低い状況です。学校運営協議会では、キャリアアップ・パワープランを広めるためのアイデアを出し合い、「いじめ問題解決に向けた教育懇談会」では、自身が行っている取組がキャリアアップ・パワープランのどこと結びついているかを話し合いました。学校・家庭・地域が共通の目標をもち、ともに子どもを育てるためのツールとしてご活用いただけるよう、今後も周知に向けて工夫していきたいと思います。

※1 自己指導能力：その時、その場でどのような行動が適切かを自分で考えて、決めて、実行する力

※2 キャリア教育：児童に学校で学ぶことと社会との接続を意識させ、将来、自分らしく自立して生きていく力を養うための教育

※3 キャリアパスポート：行事等を中心に、個々の目標の実現と振り返りを行う。小学校から高校まで継続して活用

※4 みそあじ運動：身だしなみ・掃除・挨拶・時間を意識させ、社会でのモラルを育成するための活動